

令和6年度小松市立蓮代寺小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間）	取組の成果と課題（年度末）
生徒指導	<p><いじめの積極的な認知と早期対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回いじめアンケートと担任による個別面談を実施する。 ・軽重に関わらず、いじめの訴えがあったものについて対応記録をとり、その都度情報共有を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの時期を早め、面談の期間を長くしたことで、どの学年も取り組みやすかった。一人一人と面談をしっかりと実施するとどうしても時間が長くなってしまっているので、2学期は面談時間の軽重のつけ方を意識して取り組めるようにしたい。 ・当事者同士は遊びだと思っても、外から見たらいじめのように見えるような行為については、適切な指導が必要であり、記録をしっかりととることが必要である。 ・児童理解の会は今後も定期的に行う。 	
特別支援教育	<p><支援を必要とする児童の指導・支援の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間3回校内支援委員会部会を開催し、児童にかかる複数の職員で共通理解を図りながら、支援の必要な児童の支援について検討する。 ・支援が必要な児童については、必要に応じて支援会議を開催し、誰がいつ、何をするのかを協議し、支援の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議や専門相談を積極的に行い、適切な支援について話し合う機会が持た。 ・今後も、他の学年の支援については、同じ階の学年で助け合っていく。また、階の違う学年の児童に関しては、児童理解の会等を通じて、支援の在り方の共通理解を図る。 ・特別支援教育支援員の日誌を活用して、支援の充実を図りたい。 	
道徳教育	<p><授業を中心に教育活動全体を通して道徳教育の充実を図る></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業の指導法について校内研修会を年1回以上行い、指導力の向上を目指す。 ・保護者に年1回以上の授業公開を行ったり、道徳通信等で重点内容項目の授業のふり返り等を紹介したりして家庭との連携を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重点内容項目の授業の様子を届ける通信を1回出すことができた。夏休み中に校内研修を行い、2学期以降の授業実践に活かせるようにする。 ・2学期には人権週間もあるので、道徳教育と関連付けた提案を行ったり、実践の内容を各家庭に伝えていったりして道徳教育の充実を図っていく。 	
読書教育	<p><多くの本にふれ、読書習慣を確立する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜日の朝学習は、朝読書の時間とし、手元に本がある習慣づけの一助とする。 ・お勧めの本の紹介や新着図書の情報を図書だより等を通じて年6回以上公開する。 ・学期ごとの読書の目標を達成できるように推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木曜の朝読書を推進するために、水曜の5限後本の貸し出しをする。図書室で朝読書を行う場合は、担任が貸出する。 ・朝読書を活用して「チャレンジ10冊」のブックトークや読み聞かせをできる範囲で行う。学級文庫に「チャレンジ10冊」の本を置く期間を設定する。 ・「本のとびら」のブックトークは効果があった。 ・委員会活動の取組や読み聞かせ等を行うことで、読書の意欲を高める。 ・学期末に各教室で読書の表彰を行い、意欲を高めたり、よさを認め合ったりする場とする。 	
キャリア教育	<p><学校の特徴を生かし、計画的にキャリア教育を推進></p> <p>キャリア教育の視点を意識して各教科や総合的な学習の時間に外部講師を招聘したり、見学に行ったりして社会とつながり、よりよい未来を拓く児童の育成を目指した活動を学期に1回以上行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を上手く活用したり、積極的に社会科見学へ行ったりすることができた。 ・社会科見学等を行ったら、簡単にメモを残していけるようにすると、次年度にもつながっていく。 	
保健健康教育	<p><自分の心の状態を理解し、適切に対処できる子を育てる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康チェックやアンケートを行い、自分の心と体をつつめ、自己理解をすすめる。 ・全校で体をほぐす体操に取り組み、心と体を整える習慣をつける。 ・3, 5, 6年生で授業実践を行い、心と体のつながりについての研究を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体をほぐす体操については、当初計画していたが、朝活動での時間確保が難しく、今後も実施予定はない。 ・全校での取り組みとして、心に関する絵本の読み聞かせを行った。自分の心と体について考えるいい機会になった。今後も継続し、取組や振り返り等を他の児童や保護者にも知らせていく。 ・健康チェックの目的や取り組み方を再度確認し、有効に活用できるように再度検討する。 ・授業実践は夏休みに検討を行い、2学期に授業実践を行う予定である。 	
ICT活用	<p><日常的なICT機器の活用を推進する></p> <p>健康チェックやアンケートをICT機器を使って行い、授業以外の場でも活用する。Qubenaを用いた家庭学習も定期的に行い、家庭学習での使用頻度も上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝休みの間に端末を準備しておく習慣がまだ身につけていないので、2学期前に共通理解を図る。 ・健康チェックは自分自身で振り返ることができないため、やり方を改善する必要がある。 ・ドリル教材については、感度が悪く宿題として不向きなものもある。どのように家庭学習で活用しているか担任任せになって見えにくいので、実践交流の場などで共通理解を図りたい。 	
家庭・地域の連携	<p><学校教育活動におけるSDGsの取組を発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコスクールとしての教育実践を地域に発信し、特色ある学校づくりを行うため、各学年等のとりくみを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材や自然を活かした教育活動に取り組むことができた。 ・学校だより、学級通信、学校ホームページを通して、これからも継続して発信していきたい。 	

学校関係者評価	<p>○どの学年も授業に落ち着いて取り組んでいる。</p> <p>○学校に行きにくさを感じている子どもへの支援をお願いしたい。</p> <p>○教員の配置が1減になっており先生方の負担は大きい、安全に気を付けて教育活動に取り組んでほしい。</p> <p>○学習用端末を授業や宿題で使っているが、手書きやタッチの反応がよくないようだ。</p> <p>○地域の方との学習をこれからも継続し、充実したものにしてほしい。</p> <p>○学校のお山や東山からの通学路の木や草の伐採ができるように町や学校からも市に要望する。</p>
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------